

スポーツ用自転車に関する 耐久調査事業報告書



平成19年12月

財団法人 日本サイクリング協会

目次

まえがき	1
調査の概要	2
[どういう基準で自転車を選ぶのかを教えてください]	
●自転車のメーカーは？	3
●フレームのデザインは？	4
●フレームの材質は？	5
●自転車の価格は、何を基準にして決めましたか？	6
●自転車の重量は？	7
●自転車の種類（車種）は？	8
●コンポーネント （ギヤクランク+ブレーキ+ディレーラー）は？	9
●ハンドルは？	10
●サドルは？	10
●ホイールは？	11
●タイヤは？	11
[差し支えなければ、プロフィールを教えてください]	
●性別 & 年齢分布	12
●自転車競技 & サイクリング歴	12
●自転車保有台数	14
[このレースの、今後の希望をお聞かせ下さい]	
●耐久の時間と時間帯は？	15
■アンケート用紙	16

まえがき

最近の健康やエコロジーの関心の高さにより、自転車ブームが訪れようとしています。それに伴い、新製品やハイテク素材を使用した自転車が毎月のように発表されているのが現状です。

そこで、これらの傾向がエンドユーザーにまで、どのくらい影響しているのかを把握するため、7月14日（日）開催の「2007全日本10時間耐久サイクリングinつくば」においてアンケート調査を行いました。

本事業は競輪の収益金により実施しています。報告書が、我国の自転車業界に少しでもお役に立てばと思っております。

結果について、今回は回収数が少なく、正確なデータとは言い難いのですが、傾向として捉えて頂ければ幸いです。

平成19年11月

財団法人 日本サイクリング協会





調査の概要

調査の状況

1995年にスポーツ用自転車耐久調査事業のため「全日本12時間耐久サイクリングinつくば」として開始したこの大会は、開始当初から土曜の夜から日曜の朝にかけての時間帯で開催し、1回目こそ調査対象は30チームそこそこでしたが、回を重ねるに伴い参加チームが増え、一昨年は190チームに迫るほどになりました。

また、去年は安全確保の面から開催時間を昼間に変更したことから、残念ながら参加状況が69チームと激減してしまいました。

しかし今回は、同様に昼間ながら、10時間にしたことにより106チームに増大し、幅広い調査ができました。

調査方法

調査票は受付時に各チームごとに参加賞キットと一緒 付し、参加者個々が直接無記名で記入する方法で、レース開始前から閉会宣言まで随時、アンケート協力依頼（抽選で自転車の当たる景品付き）のアナウンスを行って回収しました。

なお、回答票数と個々の集計数は回答項目に未記入があるため必ずしも一致しておりません。

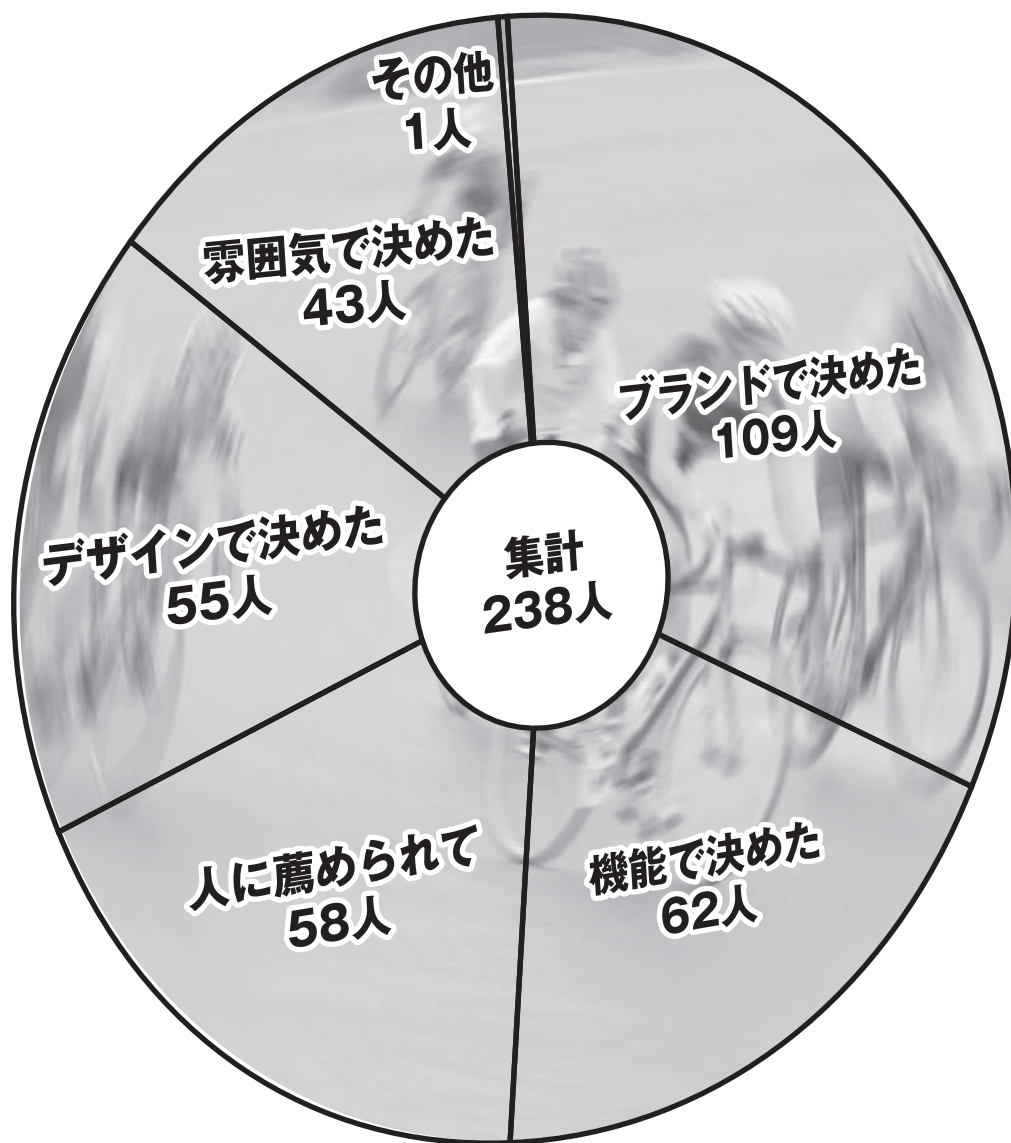
参加者は出走準備や休息、自チームの応援などでレースに集中し、実際にはほとんど時間の余裕がないなか、今回の回答を頂いております。





[どういう基準で自転車を選ぶのかを教えてください]

自転車のメーカーは？



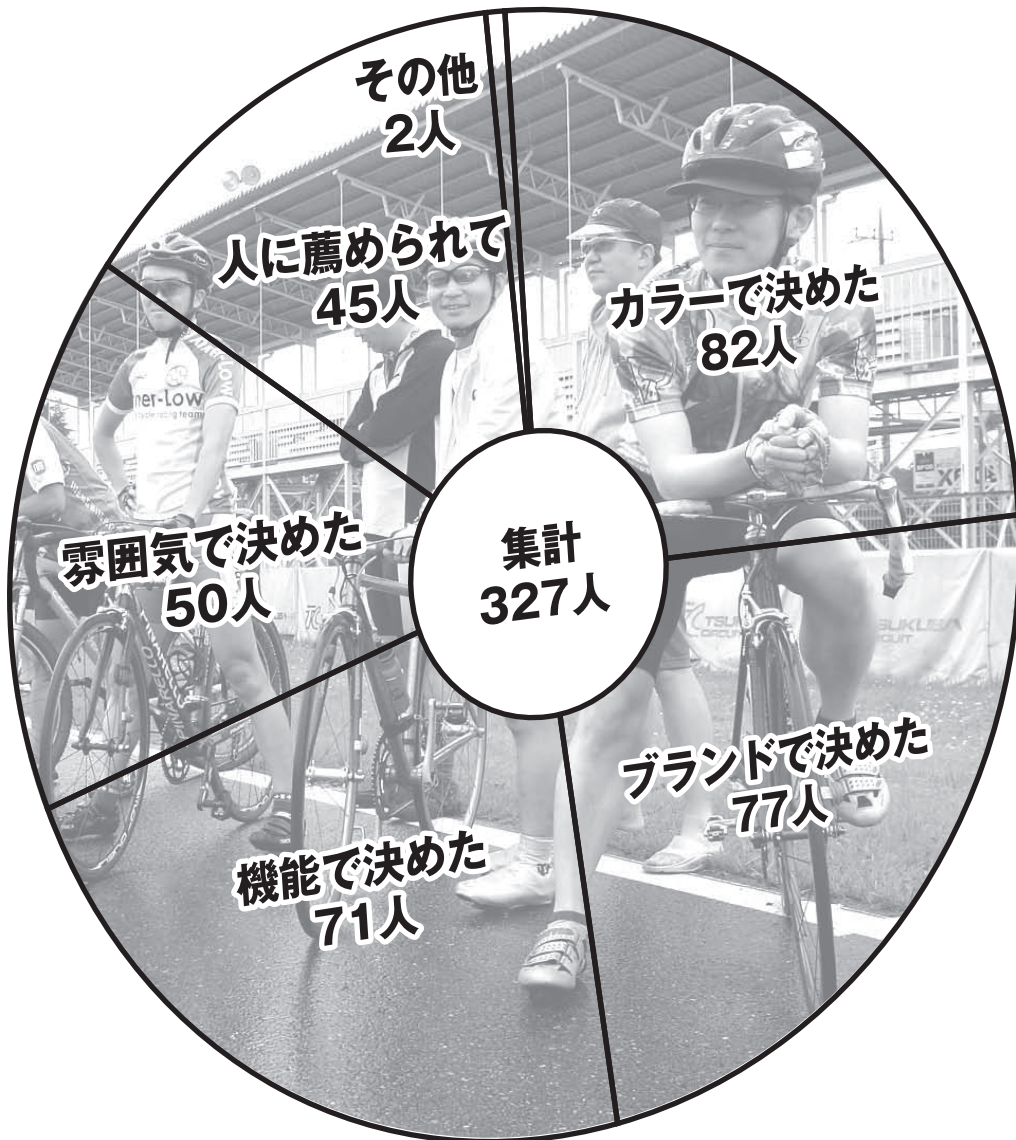
やはり、自転車を選ぶのはメーカーブランドがトップ。イメージなども含め、購入の動機として大きく影響されている。また、機能を加えると、約半数をも占めてしまう。



[どういう基準で自転車を選ぶのかを教えてください]

フレームのデザインは？

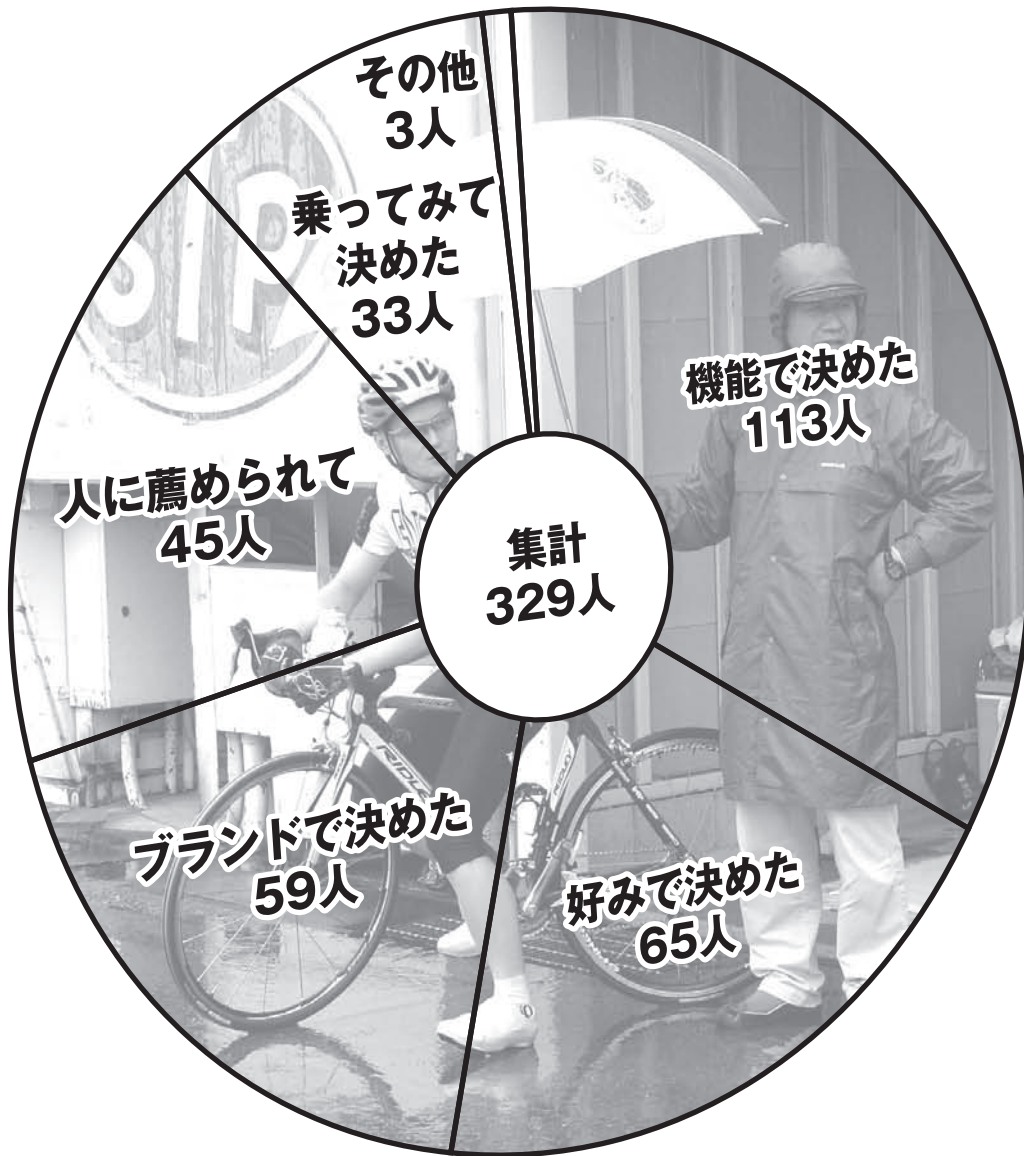
やはりデザインは、見た目で見取れるカラーで決めたのがトップ。メーカー選択と同様、次にブランドの影響力和続く。この2つの項目で過半数を占める。しかし、雰囲気より機能が勝ったのは意外な結果だった。





[どういう基準で自転車を選ぶのかを教えてください]

フレームの材質は？



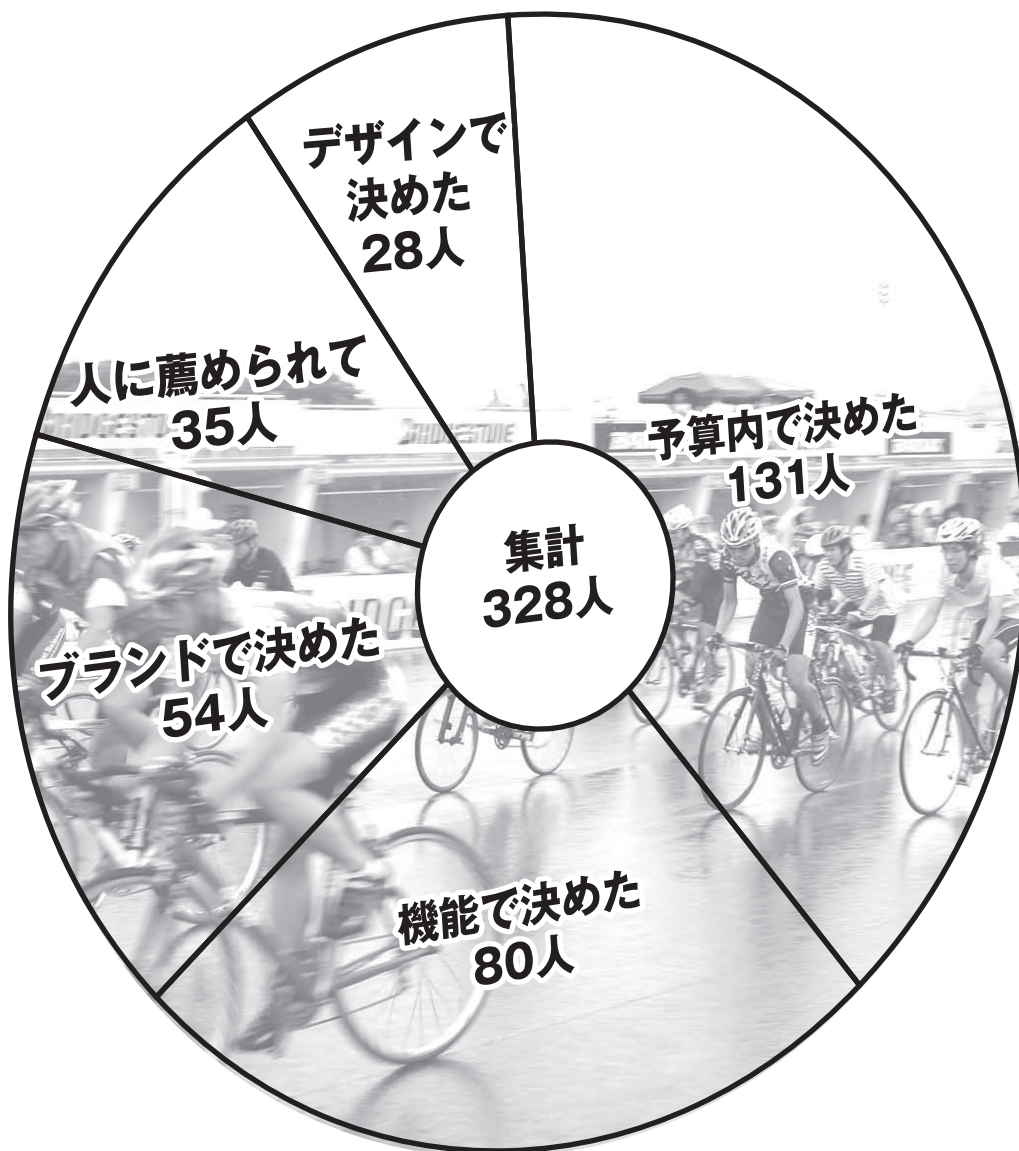
最近の自転車のフレーム素材の進歩は目を見張るものがある。ブランドよりも、機能と好みで選択するユーザーが多かった。また現状では、試乗しての選択はまだ少ないが、今後はイベントなどでの試乗会も多く開催される傾向なので、そのシェアは変化して行くものと思われる。



[どういう基準で自転車を選ぶのかを教えてください]

自転車の価格は？

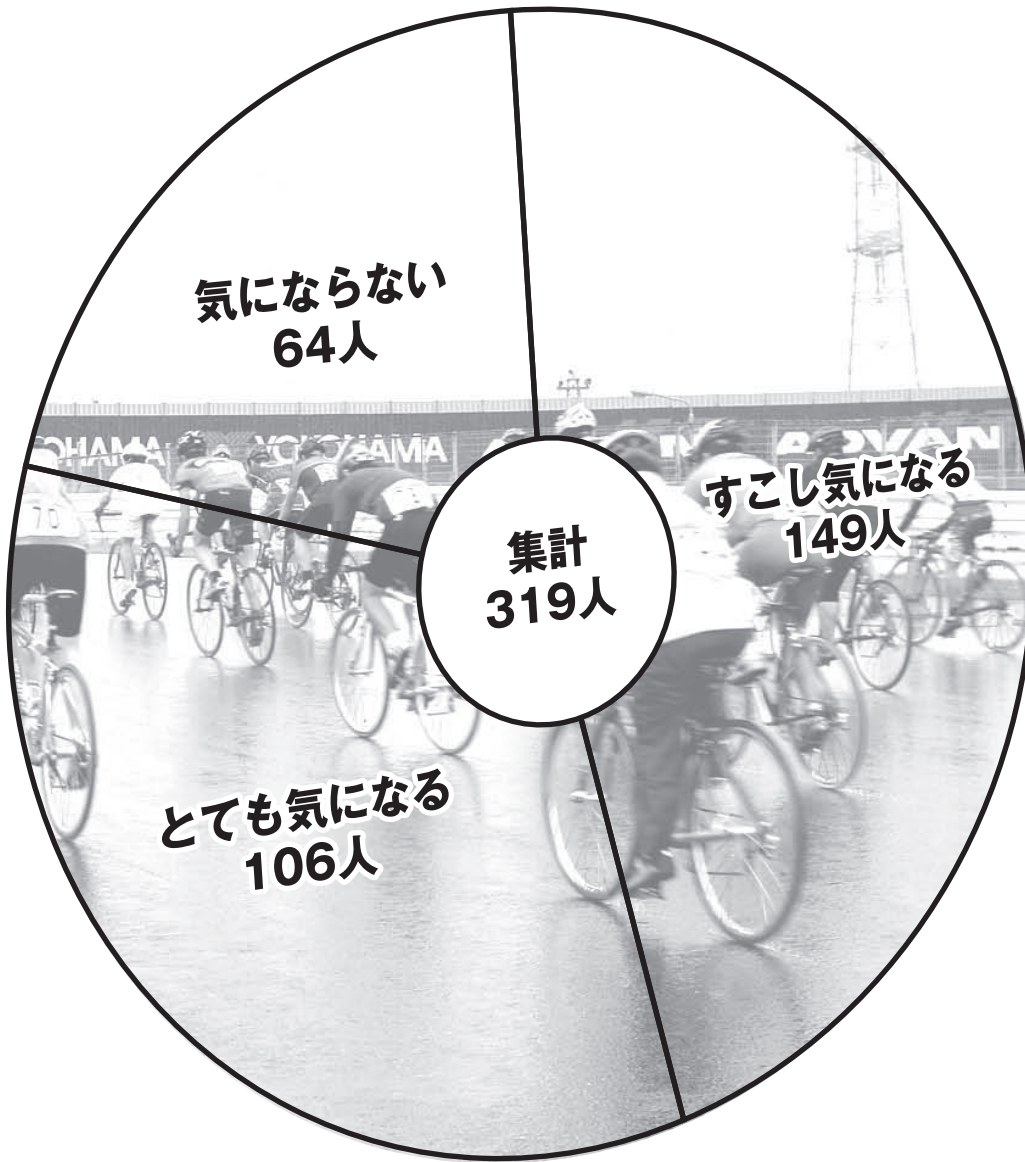
自転車の価格に対する動向は、あらかじめ決めた予算内で購入する人が3分の1に達した。最近の自転車の価格帯は幅広いが、ユーザーは堅実な動機での購入が大半だった。





[どういう基準で自転車を選ぶのかを教えてください]

自転車の重量は？



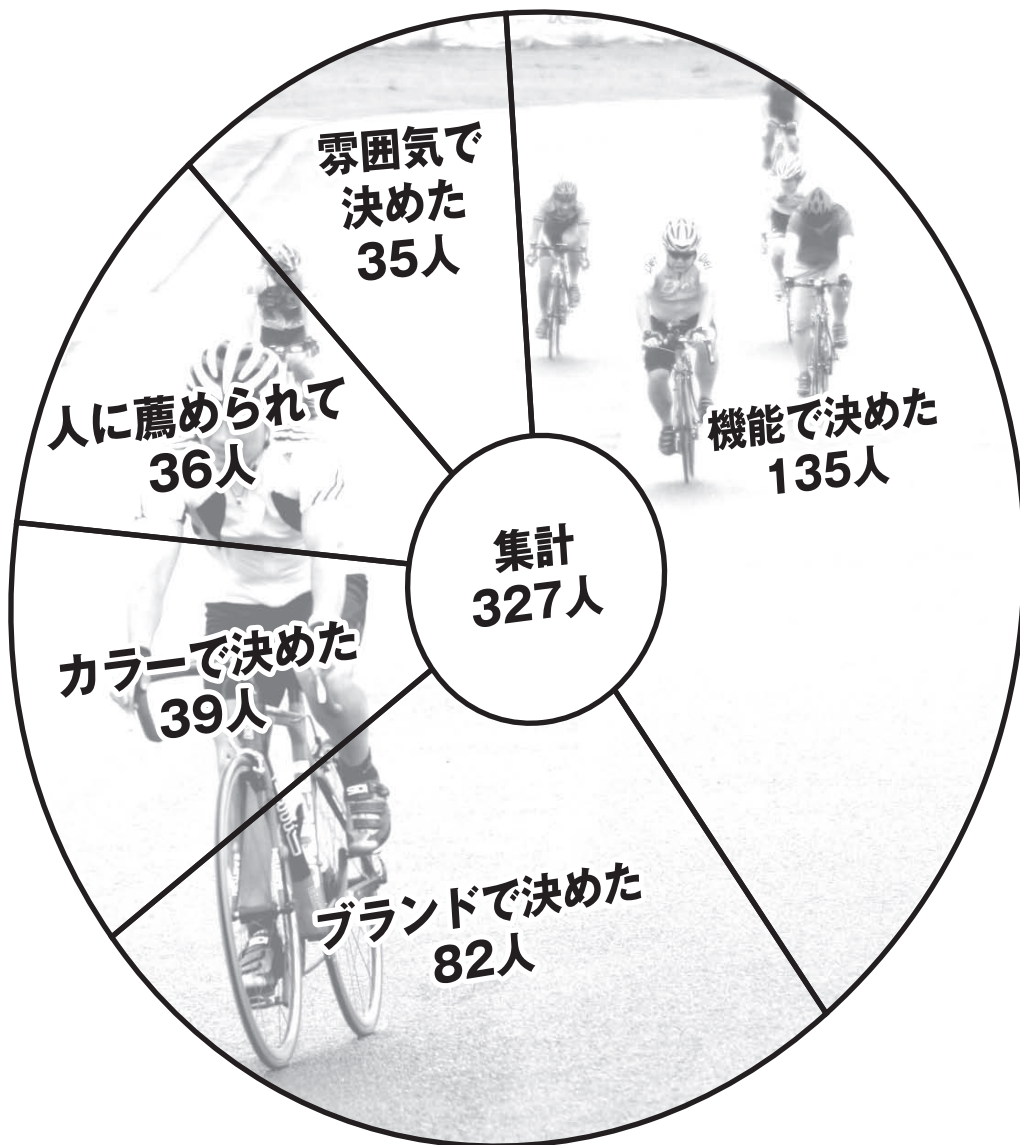
耐久レース参加者だからか、自転車の重量に対して、とても気になる人は約3分の1にとどまった。しかし、すこし気になる人も含めると、重量に関心のあるユーザーは大半で、約5分の4にもなる。



[どういう基準で自転車を選ぶのかを教えてください]

自転車の種類は？

自転車を種類で選択する基準として、やはり機能がトップ。しかし、その次はブランドで、約4分の1をも占める。逆に、それ以下では、僅かな差で雰囲気選択が最後になってしまった。

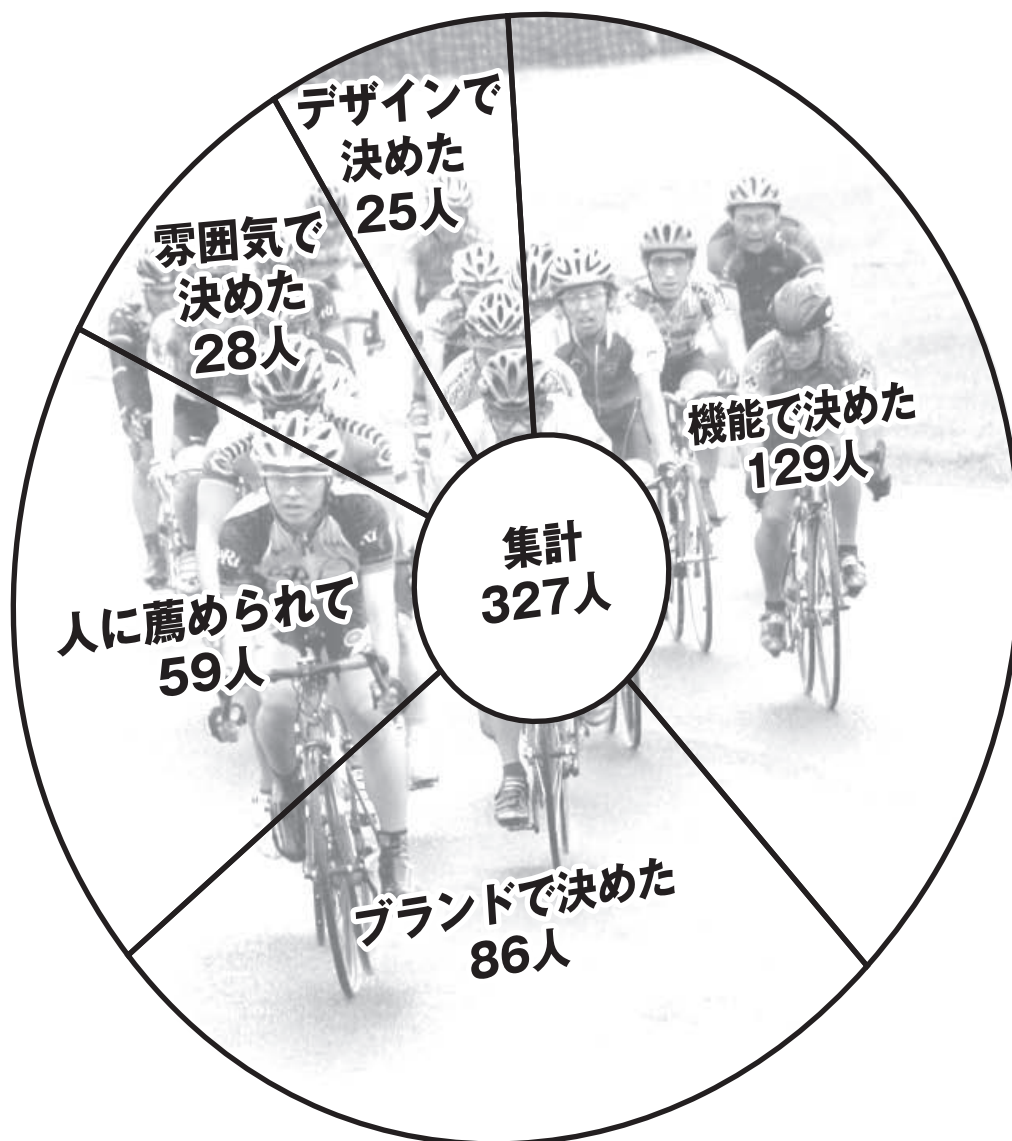




[どういう基準で自転車を選ぶのかを教えてください]

自転車のコンポーネントは？

(ギヤクランク+ブレーキ+ディレーラー)



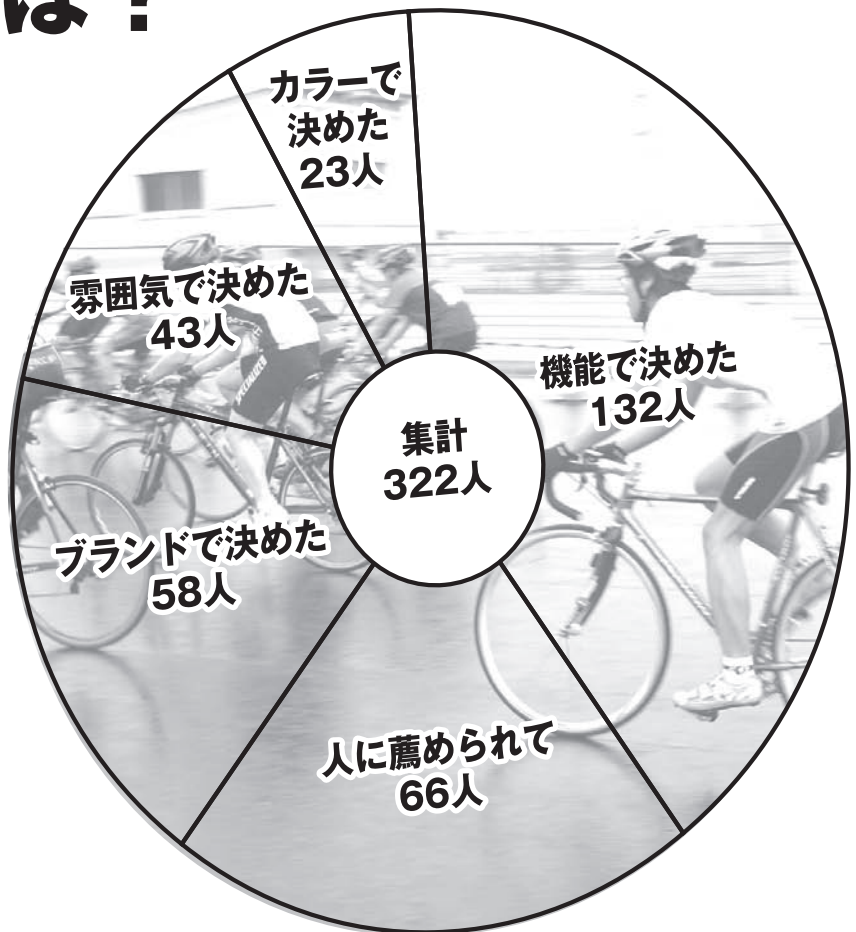
自転車を構成するメカニカルパーツのコンポーネントは、約3分の1の人が、やはり機能を重視。そして自転車本体と同様、ブランド指名で購入する人も多いことも特徴。



【どういう基準で自転車を選ぶのかを教えてください】

ハンドルは？

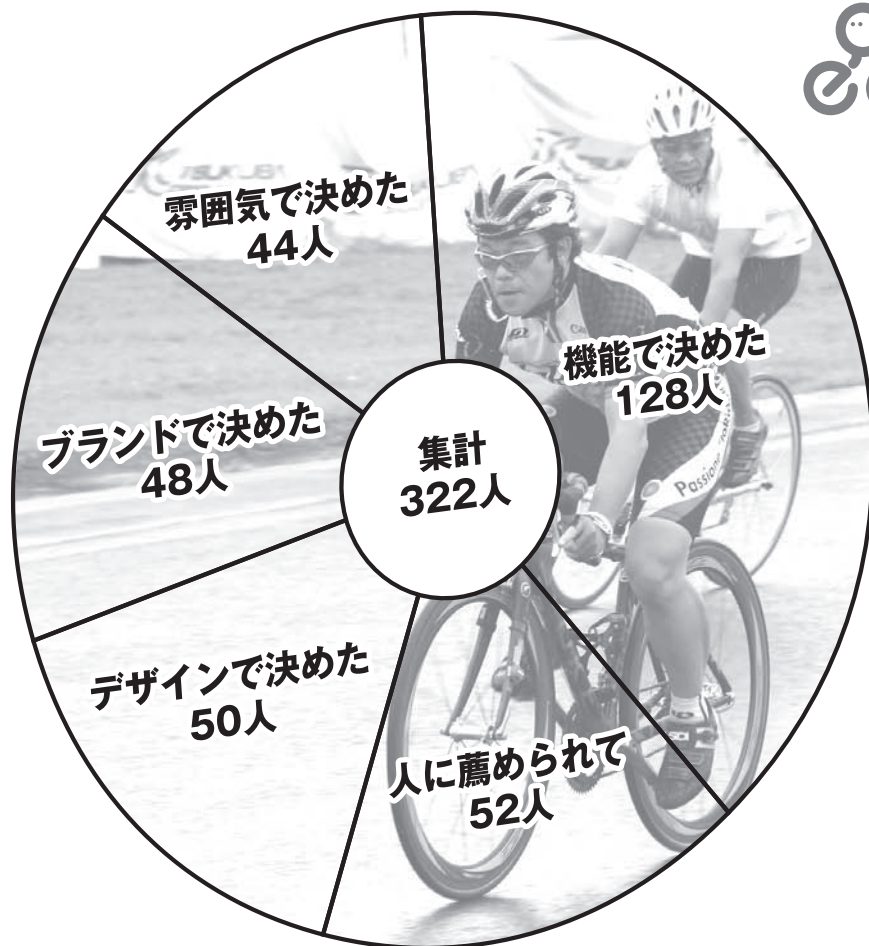
自転車のハンドルの選択基準は、機能を重視する傾向見られる。



【どういう基準で自転車を選ぶのかを教えてください】

サドルは？

サドルの選択基準も、機能重視が大半を占める傾向にある。

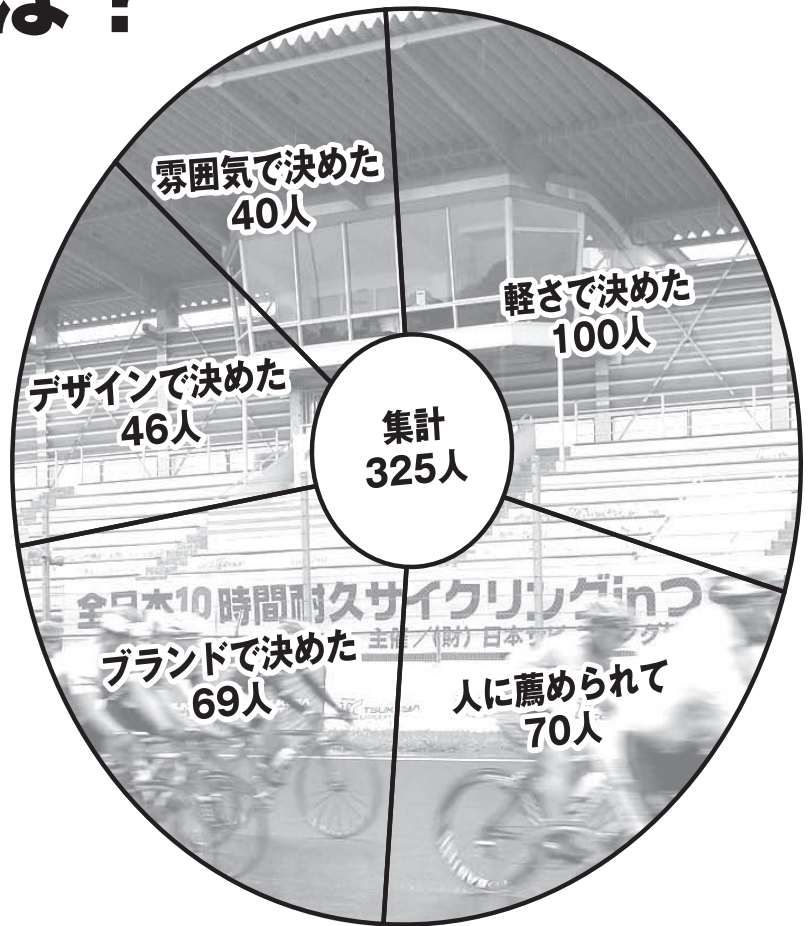




[どういう基準で自転車を選ぶのかを教えてください]

ホイールは？

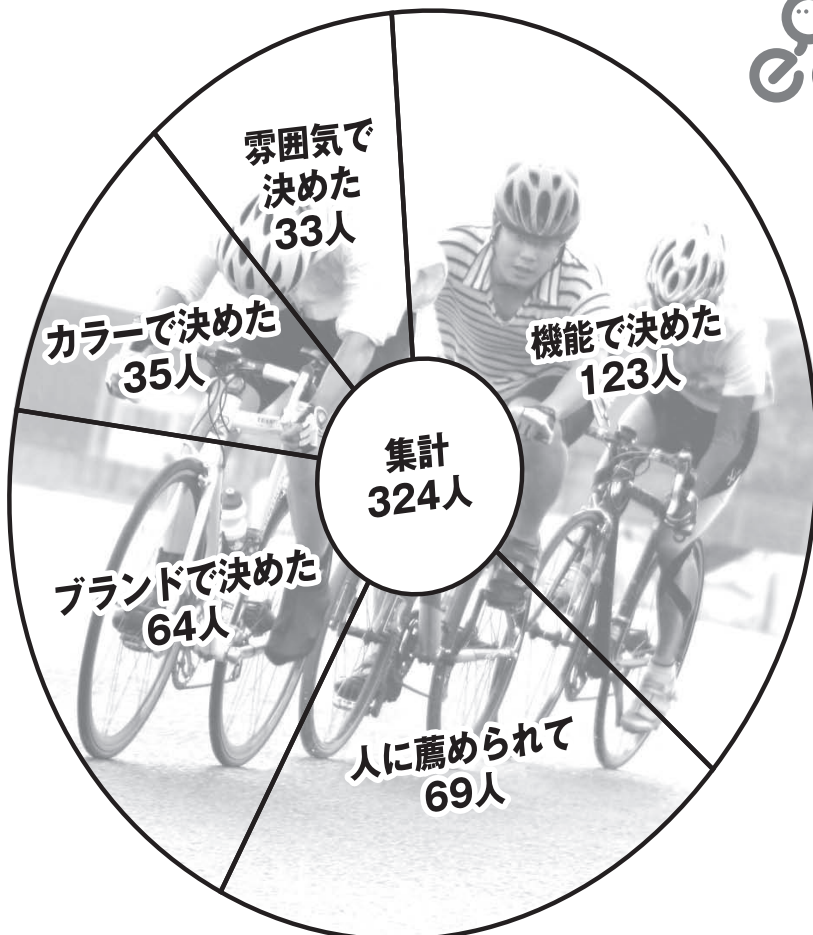
ホイールは、やはり機能といえる軽さで選択する人が多いのが特徴だ。



[どういう基準で自転車を選ぶのかを教えてください]

タイヤは？

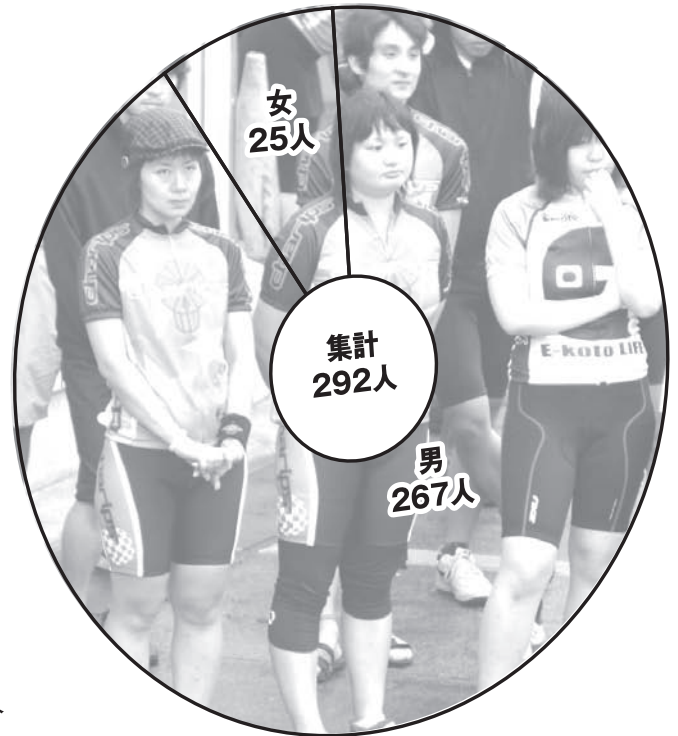
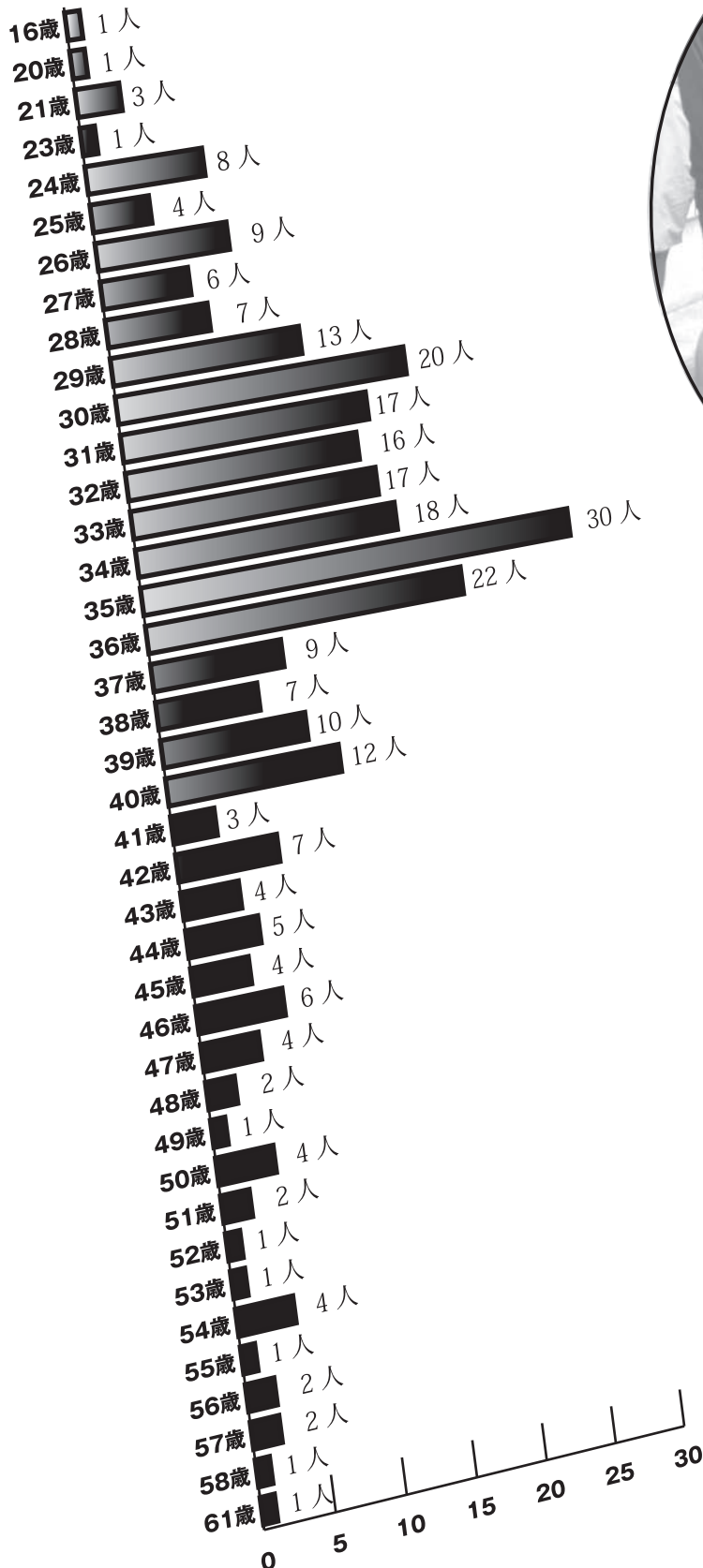
タイヤも、グリップや耐久性を含む、機能で選択する傾向が多く見受けられる。





[差し支えなければ、プロフィールを教えてください]

性別 & 年齢分布



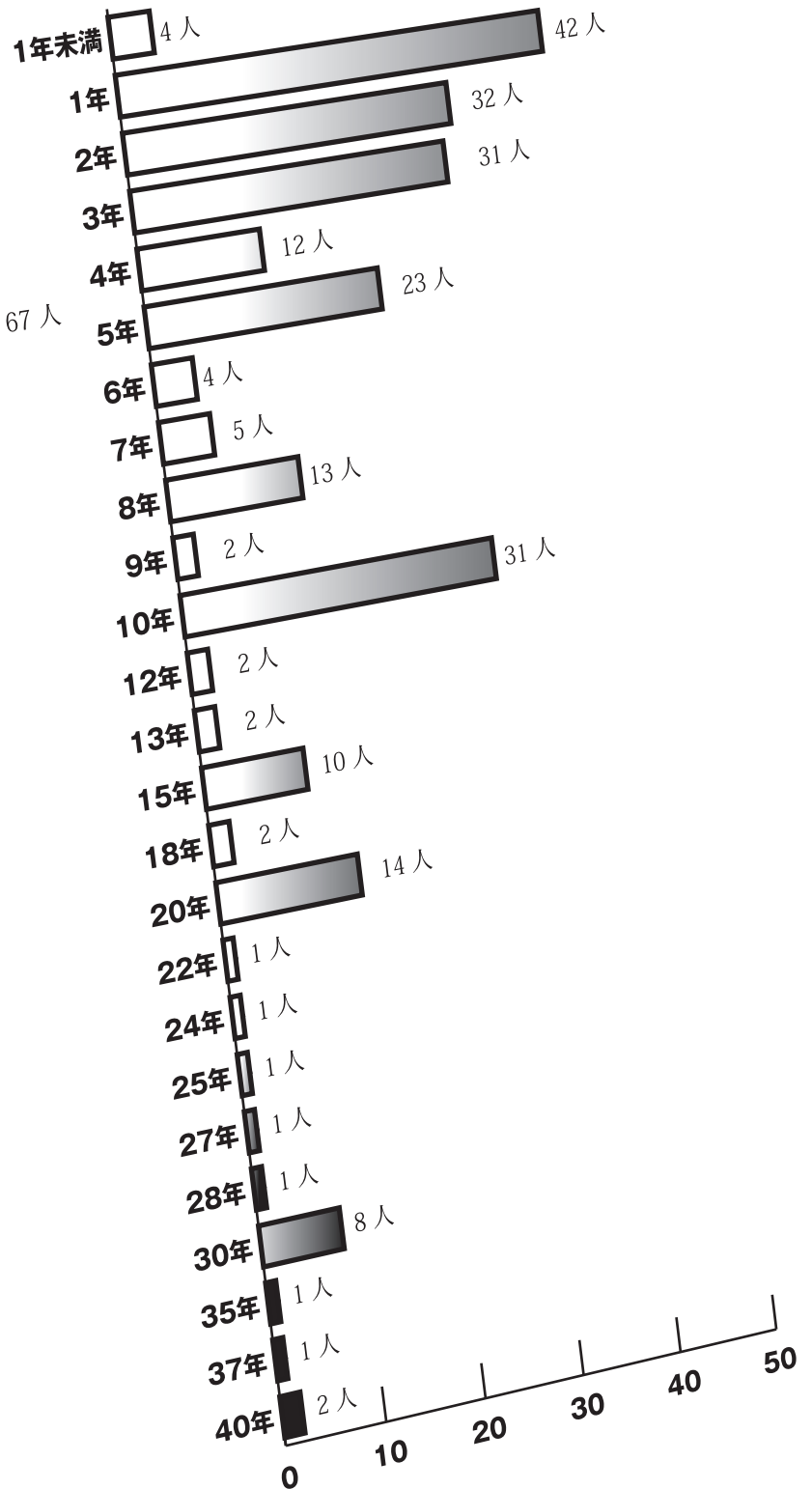
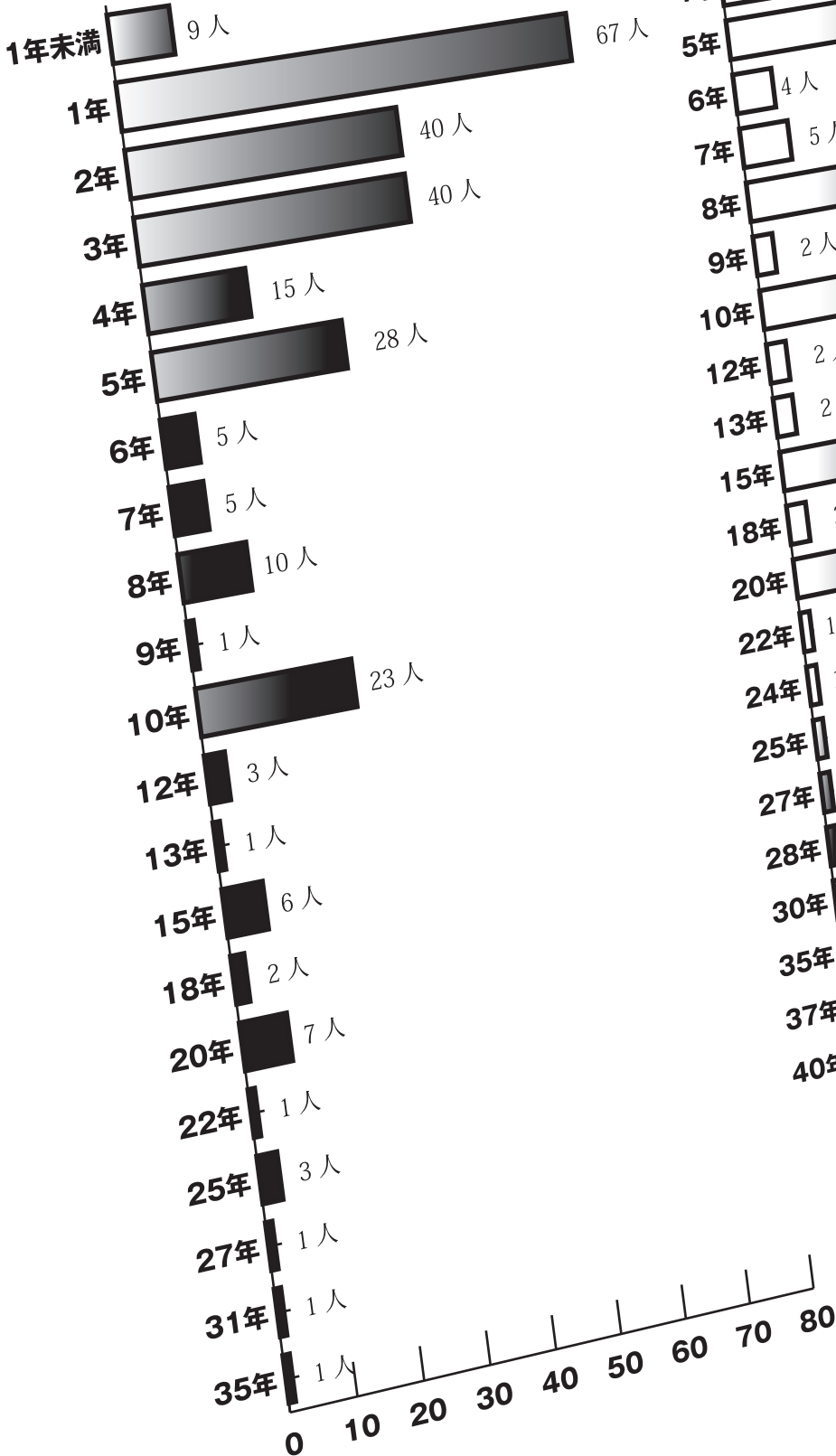
参加者は男性が中心だが、女性も約10%いることも見逃せないポイント。年齢は30歳代が中心だが、50歳から60歳代の参加者も存在する。



【差し支えなければ、プロフィールを教えてください】

自転車競技 & サイクリング歴

競技参加歴は、5年以下
が大半だが、3年以下が
かなりの数を占める。



サイクリング歴は、10年
以下は競技参加歴とほぼ
同様の比率を占めるが、
それ以外はばらつきが見
受けられる。

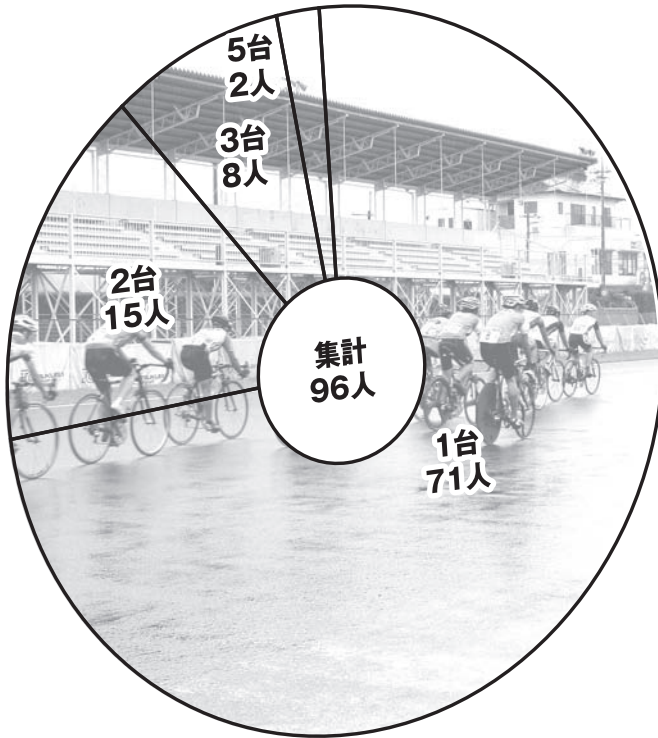
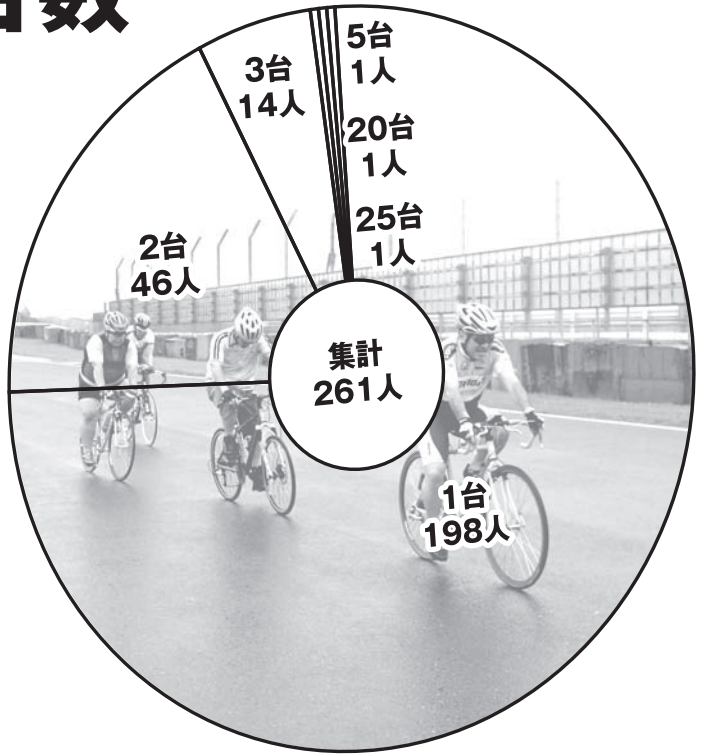


[差し支えなければ、プロフィールを教えてください]

自転車保有台数

ロードレーサー

1~2台所有の人が大半だが、なかにはマニアだろうか、20台と25台も所有されている人もいた。

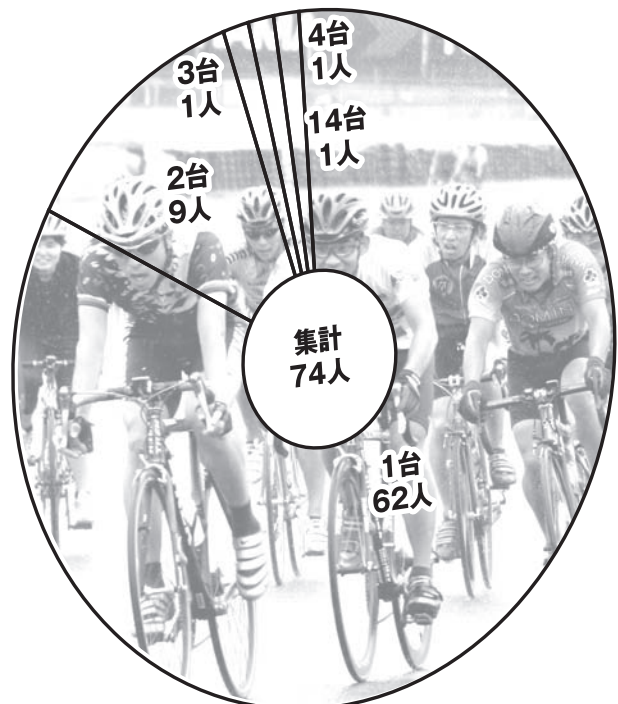


その他の車種

大半が、1台所有者。14台も所有する参加者もいた。

MTB

耐久レース参加者では、絶対数が少ないMTB所有者。1~3台の所有比率はロードレーサーとほぼ変わらない。



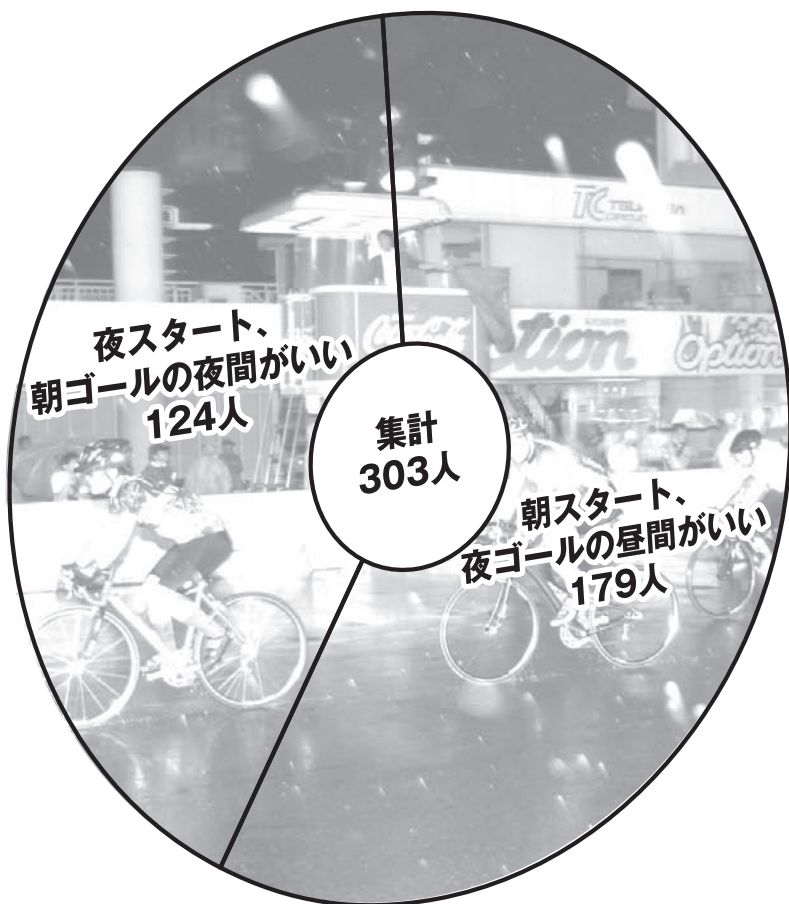
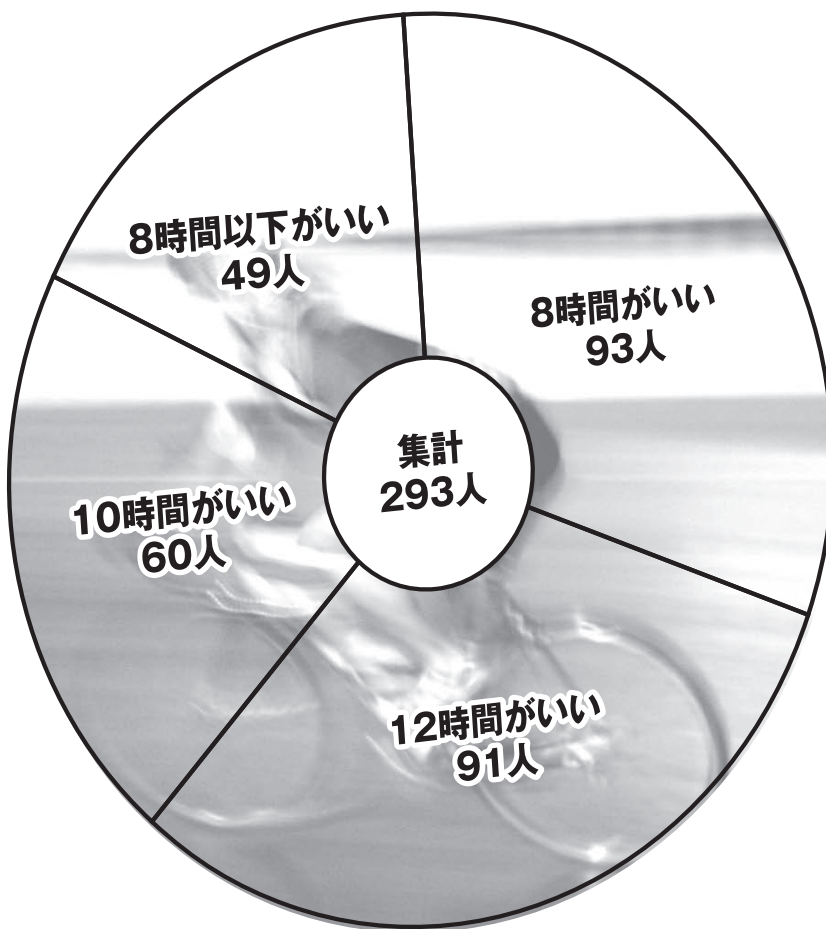


[このレースの、今後の希望をお聞かせ下さい]

耐久の時間と時間帯は？

耐久の時間

8時間を筆頭に、12時間、10時間、8時間以下と、比較的にまんべんなく続くが、8or12時間の回答が特に多かった。



競技の時間帯

過半数を占めたのが、朝スタートの夜ゴール。今回のアンケート対象レースが、その時間帯で行われたためと思われる。

平成19年12月発行

財団法人 日本サイクリング協会

〒107-0052 東京都港区赤坂1-9-3 日本自転車会館

TEL.03-3583-5628 FAX.03-3583-5987

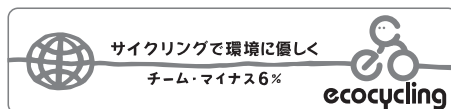
<http://www.j-cycling.org/>

本報告書の無断転載を禁じます



競輪補助事業

<http://keirin.jp>



豊かなサイクリングライフを提案する

